

授業概要

心理診断の実施においては、その実施目的や対象者に応じて、必要な心理診断法が選択される。本科目では、履修生が種々の心理診断法についての基本的な知識を得ることを目的として、発達検査や知能検査、質問紙法パーソナリティ検査、投影法パーソナリティ検査等、心理診断法を広く取り上げ、その理論と実施法、分析法、解釈法について講義する。

授業計画

第1回	心理診断とは
第2回	投影法パーソナリティ検査/バウム・テスト：体験と分析及び解釈
第3回	投影法パーソナリティ検査/S-HTP法：体験と分析及び解釈
第4回	知能検査/グッドイナフ人物画知能検査①：体験と理論学習
第5回	知能検査/グッドイナフ人物画知能検査②：分析
第6回	質問紙法パーソナリティ検査/エゴグラム：体験と分析及び解釈
第7回	発達検査/津守式乳幼児精神発達検査①：1～3歳用の理解
第8回	発達検査/津守式乳幼児精神発達検査②：3～7歳用の理解
第9回	投影法パーソナリティ検査/SCT（文章完成法テスト）①：体験と理論学習
第10回	投影法パーソナリティ検査/SCT（文章完成法テスト）②：分析
第11回	投影法パーソナリティ検査/風景構成法：体験と分析及び解釈
第12回	知能検査/K-ABC心理・教育アセスメントバッテリー①：理論学習
第13回	知能検査/K-ABC心理・教育アセスメントバッテリー②：体験と分析
第14回	投影法パーソナリティ検査/家族画法：体験と分析及び解釈
第15回	神経心理学的検査/改訂長谷川式簡易知能評価スケール：体験と分析及び解釈
第16回	試験

到達目標

1. 心理診断の基本的な考え方について学ぶ。
2. 各種心理診断法についての基本的な知識を得る。
3. 各種心理診断法の質的な差異を十分に理解し、目的に応じたテスト・バッテリーを想定することができるようになる。
4. 心理診断を実施する上での基本的な倫理、心構えを学ぶ。

履修上の注意

あくまでも授業内学習であることに十分配慮した上で講義するが、自分自身について各種心理診断体験を伴うことを予め了解の上、授業に臨んでもらいたい。

予習復習

授業ノート及び配布資料を再度見直しの上、理解に努めること。

評価方法

試験 50%、授業参加態度（意欲、積極的取り組み、主体性）50%によって評価する。

テキスト

使用しない。資料を配布する。